

日時:2011年11月5日(土)・6日(日) 場所:龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」

【薬物依存症者処遇プログラム研修】 第8回 薬物依存症者回復支援セミナー (DARS in 京都)

※運営の関係上、プログラムの時間が変わることがございます

【第1日目】

11月5日(土) 13:00～18:00(5時間00分)

(第1部) 13:00～14:30(1時間30分)

挨拶と趣旨説明 龍谷大学 石塚 伸一(30分)

「ダルクの原点」

日本ダルク 近藤 恒夫(報告30分:質疑30分)

＝休憩＝14:30～15:00(30分)

(第2部) 15:00～18:00(3時間)

「薬物依存と家族支援 ～25年目の気づき～」

京都府立大学 山野 尚美(報告30分:質疑30分)

「薬物依存症者の家族のための法律知識」

NPO法人アパリ 尾田 真言(報告30分:質疑30分)

「CHANGE:変えられるのは自分と未来」

沖縄ダルク 三浦 陽二(報告30分:質疑30分)

～懇親会～ 18:00～20:00(2時間)

【第2日目】

11月6日(日) 9:30～16:30(7時間)

(午前の部) 9:30～12:00(2時間30分)

「前日のまとめ」 龍谷大学 石塚 伸一(30分)

「断薬後に残る課題と家族関係の再構築について

～重複障害の視点から～」

三重ダルク 市川岳仁(報告30分:質疑30分)

「異質であること、わかちあうこと

～〈つなぎ・ひきだす〉連携を考える」

龍谷大学 土山希美枝(報告30分:質疑30分)

＝昼の休憩＝12:00～13:00(60分)

(午後の部) 13:00～16:30(3時間30分)

「リハビリ施設の4つの条件から」

京都ダルク 加藤武士(報告30分:質疑30分)

ミーティングの実演

ダルクのなかま(60分)

「わかちあい」

(90分)

【参加希望者の募集】

今回のパイロット・セミナーは、出会いと語り合いを大切にしています。ワークショップなどの構成上、参加者を司法、医療および福祉それぞれ12人、当事者16人、マスコミ関係その他12人程度とします。グループワークの性質上、一定の職業やジェンダーに偏らないように調整します。

参加希望者は、あらかじめファックスでお申し込みください。定員をオーバーした場合には、参加者を限定させていただきますので、あらかじめご了承ください。募集後、速やかに事務局より参加の可否をご連絡をさせていただきます。

【費用】

資料代 3000円+カンパ

【申し込み締め切り】10月24日(月)必着

セミナーの情報については、NPO 法人アパリ、および龍谷大学矯正・保護総合センターのホームページでも公開しています。

●NPO法人アパリ: <http://www.apari.jp/npo>

●龍谷大学矯正・保護総合センター:

<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/index.php>

＝お問い合わせ及びお申込み先＝ 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 電話 075-645-2040

龍谷大学矯正・保護総合センター FAX でのお申込 075-645-2632

参加を希望される方は、【参加申込書】、【参加希望理由】にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。

参 加 申 込 書

フリガナ					
お名前				ご所属・ご職業 (差し支えなければ)	
ご住所	〒				
FAX 番号		電話番号		メール アドレス	

【参加希望理由】